

2008 年度

科目名 公的扶助論	対象学科・学年 教育教福 3 回生	担当者 寺村 茂
授業テーマ セーフティネットとしての公的扶助と私たちの生活		
授業の概要と目標 生活保護以下の賃金では働けない、生活保護に満たない年金なんかに入りたくない、といった声を聞くと、あまり馴染みがないと思われがちな生活保護が、私たちの生活と意外と深く関わっているということが理解されるであろう。私たちは、セーフティネットとして、最低生活を保障されることで日々安心して暮らすことが出来る。本講では、我が国公的扶助制度を生活保護を中心として、生活のセーフティネットのあり方という観点より考えてみたいと思う。		
評価方法 テストの成績（35％）にレポート（35％）、出席状況等（30％）を加味して総合評価します。		
テキスト 改訂 公的扶助論	著者 小林迪夫、他	出版社 建帛社
参考書 国民の福祉の動向（2007 年）（厚生指の指標、臨時増刊） 尚、福祉六法（出版社を問わない）があれば授業に持参して下さい。	著者	出版社 厚生統計協会
授業スケジュール・内容 1、公的扶助とは 社会保障制度における公的扶助の位置づけ 「貧乏」てなに 2、公的扶助の歴史 いつから公的扶助の制度はあるのか 3、憲法と公的扶助 憲法 25 条、13 条の理解 保護は恩恵か権利か 4、生活保護の動向 どのような人が生活保護を受けているのか 5、保護の実施機関 保護はどこが担当するのか 6、保護の基本原則 生活保護法の規定する基本原理 7、保護の原則 生活保護法の規定する原則 基本原理と原則は違う 8、保護の申請・決定・実施 保護はどのようにしたら受けられるのか 9、生活保護基準 保護基準は生活保護以外にも大きな影響力をもつ 10、保護の種類 生活保護にはどのような種類があるのか 11、保護の方法 居宅か施設入所か 金銭給付か現物給付か 12、保護施設 保護施設の種類と運営 13、被保護者の権利と義務 保護を受ける権利の特質と保護を受ける者としての義務 14、児童扶養手当、児童手当 生活保護との相違 15、公的扶助と社会保険の相違 無抛出の公的扶助と保険料を負担する社会保険の違い		